

ロシアの体育・スポーツ

—— 極東地域を訪ねて ——

Situations of Physical Education and Sports in Russia

Visits to Far East Russia

浅 尾 秀 樹

Hedeki ASAO

ABSTRACT

This report is an introduction about a situation of physical culture and sports in Russia. We can get information owing to the Glasnost policy gradually, The in-coming information is small. There are a lot of problems to be solved to improve educational environments. New system and contents are necessary for the school education. As school teachers are of low social standing, and poorly paid, very few students desire to become school teachers.

The following diagrams show an object of physical education, distribution of programs, distribution at home, contents of a study in track-and-field events, and a method of the rating, etc.

The Khabarovsk State Institute of Physical Culture trains highly qualified specialists (teachers, coaches, and instructors) in physical culture and sports of the Far East Russia. The reform has been spread from the college to the university. It is indispensable to enhance specialities and to educate excellent leaders. These colleges and universities make efforts to keep up with the alteration of social conditions.

I は じ め に

1991年8月、共産主義の復活を策したクーデターは失敗し、12月にはソビエト連邦政府は崩壊した。ペレストロイカ、グラスノチ政策の効果もあって、ロシアに関する情報は少しずつではあるが明らかになってきている。しかし国家自体が政治的・経済的に混迷し、加えて断片的な内容であるために、いまだ不明瞭な部分は大きい。

スポーツ界においては1948年以来国際的競技力向上がはかられ、モスクワオリンピックの一応の成功をおさめ、国際的競技会での活躍は依然すばらしいものがある。しかし民間レベルにおいてはそれを支えていたΓ T Oとスポーツ等級制度が終了し、エリートスポーツの華やかさの一方で、一般の体育・スポーツでは様々な問題をかかえている。

次代を担う子供たちや若い世代の教育に力をいれることはその国の着実な発展にとって重大な課題である。国家が新しくなるとき、教育もまた制度・内容において変わらなければならな

いが、独自の教育システムはありつつも、児童・生徒の教育の実際場面で抱える諸問題は多く残っている。

今回ロシア極東地域を訪問する機会を得ることができた。ハバロフスク市、ユジノ・サハリンスク市を中心に学校教育の現況を視察し、ハバロフスク体育大学での情報交換では大きな成果をみた。また、学校体育の内容や教員の現状について理解を深めることができた。さらに、我が国でも実施が検討されている「スポーツ室くじ」のロシアでの現状についてここに報告する。

II ハバロフスク体育大学…極東地域の体育の中心

シベリアを雄大に流れるアムール川、その一部は中国との国境でもある。夏には日光浴に人々が集まる憩いの場となり、ハバロフスク市民に潤いをあたえてきた。探検家エロフエイ・ハバロフにちなみこの街の名がついた。レーニン広場からカール・マルクス通りがメインストリートで、アムール川沿いの公園へと続く。その一角にハバロフスク体育大学がある。近辺には図書館や博物館など、石づくりの建造物が並び歴史と伝統を感じさせる。

1947年、体育中等専門学校として始まったこの大学は長い歴史を有し、極東体育・スポーツの中心である。学校・スポーツ学校、短大や専門学校、スポーツクラブのコーチ等幅広い教員の養成がなされている。卒業生は東シベリア全域で教員・コーチとして活躍している。特にスキー・ボクシング・水泳・レスリング・パワーリフティング・サンボ・柔道で良い成績をあげている。女子の高等教育への進学率は高く、体育大学での女子学生の割合は約40%である。現在は長野冬季オリンピックの強化キャンプ地の一つである。



写真1 学長とともに

単に優秀なスポーツマンだけでなく、スポーツや関連する各分野で幅広く活躍できる人材を育成することが求められ、急激な社会の変化とそれらに対応する高等教育機関としての積極性が力強く感じられた。そのためにも、極東各地域の体育教官との連携を積極的に進め、極東としての中心・情報源としての地位を確かなものとするための努力がなされている。昨年にはサナトリーヤリハピリーセンターの要請に応え、リハビリ科を新設した。次に検討されているのが、放送局のスポーツ担当あるいはマネージメントの学科である。また将来的に脚光を浴びようとしているのがスポーツ関連の観光専門家コースである。

優秀な人材を集める努力は通信教育にも入れられている。教員やかつての優秀選手に再教育をし資格を取らせ、彼らの経験を生かしたより高い専門性を身につけたスペシャリストを育成しようとしている。写真-2は、現職女子教員のスクーリング風景(レスリングの授業)である。

国からの資金的援助を得るためには、優秀なスポーツ選手が存在が必要である。現在15人のロシアスポーツチームに所属する学生がいる。国際的・国内的レベルのスポーツ選手の早期発掘・強化がすすめられている。そのための具体的方策として 1) 各学校のスポーツコースの高校生を対象として準備授業の実施 2) 入学が決定した高校生を集め、入学前の指導を実施 3) 教員の上級資格取得の為に再教育がとられている。



写真2 レスリングの授業風景
(ハバロフスク)

スポーツスペシャリストにとっては通常のカリキュラムでは履修が困難であるので、1年分のカリキュラムを2年で履修する等の特別カリキュラムが配慮されている。現在50人程が特別プログラムで学んでいる。

Ⅲ 単科大学から総合大学への転換

これまで高い専門性をもつ技術者・科学者を育て、個々の分野では高度の技術レベルを有してきた。しかし、国民の生活水準の実態から見ると高度の科学技術は一面的なものでしかなかった。スポーツの分野でも、かつては社会的地位と安定した生活を手に入れるには優秀なスポーツ選手になることが最短距離であるかの風潮があったし、ソビエトの体育・スポーツ政策と一体化して効果を上げてきた。しかし、現在では若者のスポーツ離れが進み、産業・経済界そして金融界がそれにとって代わろうとしている。体育大学でも同様に総合的・複合的な分野が重視されるようになり、社会・経済の変化に対応した大学の変革を進めている。

体育大学では単科大学から総合大学への転換が図られ、「極東のスポーツアカデミー」を目指し着実にすすめられている。そこで目指しているものは 1) 幅広い視野をもつ専門家の育成、2) 総合科学として通用する高い専門性、3) ハイレベルの競技力と人材の早期発掘 4) 中等教育での準備教育（各教育機関との相互理解と相互協力）である。専門教育では少人数教育を伝統的に徹底している。体育実技の授業は教員1名につき、学生は8～10人が標準である。

大学として30周年を迎えつつあり、新しい知識や技術の獲得のため国際交流に力をいれるようになった。しかしスポンサーがつかなければ定期的交流は困難であり、経済的な問題も多い。ハバロフスク体育大学では主に中国の



写真3 スキーの授業風景
(ユジノサハリンスク)

学生を多く受け入れ、既に80人程が卒業し通訳資格を取得し両国の橋渡しとして貢献している。ハルピン大学との講師相互派遣研修は定期的に行っている。

3月には科学会議開催が予定されている。市民レベルの幅広い（幼稚園児から大人までの）スポーツ活動が中心に検討される等、スポーツの現状打開の道を探ろうとしている。

IV 学校教育・体育事情

教育労働者の社会的地位はあまり高くはない。賃金も表-1のように労働者全般でみても低い方である。給料を増やすために担当時数を2倍に希望する教員もいる。したがって、教育大学や体育大学の学生でも一般の学校の教員にはなりたがらない。教員よりは自由経済への移行期なのでビジネス面

表1 労働者の月平均賃金（サハリン州）（単位：ルーブル）

| 年 | 1985 | 1990 | 1992 |
|-----------|-------|-------|----------|
| 国民経済全体 | 340.5 | 477.2 | 9,425.5 |
| 工業 | 399.7 | 575.6 | 11,490.7 |
| 農業 | 385.5 | 539.5 | 8,284.5 |
| 保健体育・社会保障 | 236.6 | 317.6 | 6,018.2 |
| 国民教育 | 244.7 | 305.7 | 5,171.4 |
| 文化 | 204.5 | 309.6 | 5,102.8 |
| 科学 | 347.2 | 537.4 | 7,529.4 |
| 金融・保険 | 332.6 | 662.4 | 16,118.0 |

（ロシア極東データブックより抜粋）

に係わっていくものが多い。レベルの高いスポーツ選手は全ロシア選抜チームを目指したり、あるいは民間（公営）のスポーツクラブのコーチを目指す学生が多い。女子の高等教育への進学率が高く、一般の学校では女子の教員がほとんどで、年齢も高い。ハバロフスクのN55学校では男性は1名であった。本人が希望しなければ異動もない。地方の学校では、体育の専任教員がいないところが多い。大人のスポーツ離れもすすみ、同時に若者に教えてくれる人が減ったので“若者のスポーツ離れ”は急速に進んでいる。

学校教育では、学年構成は小学校が1～4学年、中学校が5～9学年、高校が10～11学年の11年制であるが、今は4学年は実施していない。3年生の次は5年生で、現実には10年である。一般の学校では、同じ校舎で学ぶ。学校は2部制で、学年により午前か午後のどちらかに学校へ行く。N. 9 ユジノ・サハリンスカの3年生の場合、1時間目は13時30分に始まり35分授業で、1日5時間の授業である。日中の街なかに子供たちの姿が多く見られる。スポーツクラブでトレーニングする子もいれば、農村部の道路で読書しながら牛乳や野菜を売る姿もよく見られる。道端で車洗いで稼ぐ子もいる。一方で野放しとされている子供も多く、大人の凶悪な犯罪とともに、子供たちの非行が問題になっている。

体育科目の課題は以下の4つにまとめられ、その中心は体づくりである。1) 成長する子供の体を鍛え、健康を増進し、調和的に育成すること、2) マナー、意志を鍛え、道徳心を育成すること3) 体育の知識を身につけ、体力を向上させること、4) スポーツ・体育への関心を高め、自己体育への欲求を身につけさせること。

各単元の時数配当が表-2である。また宿題として科せられる個人の1週間のトレーニング内容と運動量が表-3（自主的な課題）である。ランニングは男子が8～10km、女子が7～9km、

表2 各学年の時間配当表

| Разделы программы | Распределение часов по классам | | | |
|--|-----------------------------------|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 |
| Сведения по физической культуре | В процессе учебной деятельности | | | |
| Игровые упражнения Подвижные игры Гимнастика | 50 | 50 | 32 | 34 |
| Элементы спортивных игр | 4 | 6 | 8 | 10 |
| Льжная подготовка | 10 | 12 | 12 | 12 |
| Легкая атлетика | — | — | 10 | 12 |
| Плавание | При наличии условий в 1-3 классах | | | |
| Виды самостоятельных занятий | В процессе уроков | | | |
| Всего часов | 64 | 68 | 62 | 68 |

(программы)

表3 自主的な課題

| Виды двигательной деятельности | Недельные объемы двигательной деятельности | |
|---|---|-----------|
| | мальчики | девочки |
| Бег (км) | 8-10 | 7-9 |
| или Ходьба на лыжах (км) | 10-12 | 8-10 |
| Прыжки со скакалкой (раз) | 800-1000 | 800-1000 |
| Подтягивание на высокой перекладине (раз) | 20-25 | |
| или Подтягивание на низкой перекладине из виса лежа (раз) | 45-55 | 45-50 |
| Сгибание и разгибание рук в упоре лежа (на скамейке или стуле) (раз) | 45-50 | 45-50 |
| Поднимание прямых ног из положения лежа на спине (раз) | 50-60 | 50-60 |
| Наклон вперед с прямыми ногами о. с. | 50-60 | 50-60 |
| Участвовать в подвижных и спортивных играх во внеурочное время | ежедневно | ежедневно |
| Кататься на лыжах, кониках, санках | ежедневно | ежедневно |
| Выполнять утреннюю гигиеническую гимнастику | ежедневно | ежедневно |

縄跳びは男女とも800～1,000回のように具体的に示される。各学年毎に示され、表は2年生のものである。

3年生の陸上競技の学習内容は、競技場におけるマナーの説明、歩行及びランニング、ハードルを越える歩行、スタンディングスタートと30m走、リズムカルなランニング(2, 5分)、ジャンピング、立ち幅跳び(15～20cmの高さのロープを越える)、走り幅跳び、6m離れたところから高さ3mのバーを越えるボール投げ、1kgボール投げ(5～6m)、右手及び左手による投げ方等である。

体育の授業で配慮すべき事項として以下の点があげられている。1) 1年生では「水における安全・マナー」の指導を12時間、2～3年生では7時間を実施する。2) 春の時期に「民間防衛」を6時間実施する。3) 具体的条件により教員は時間配当を変更することができる。例えば降雪地域ではスキーの授業時数を体操・水泳・ゲームの時間に置き換える等である。4)

ゲームはその地方のゲームや民族ゲームに替えることができる。5) 児童生徒の関心をひくために、レッスンに音楽や様々な器具・器械・器材を活用すること。6) 健康診断の結果と体力・体調を考慮し、個別的に取り扱いをすること。7) 生徒の心理的特性に配慮すること。レッスンを楽しく、内容が体力づくりに偏らないために、ゲーム的運動内容を活用する。8) 6歳の子供はまだ自己を管理する能力が未熟であるので指導には特に注意すること。運動しすぎて疲れないように、エクササイズの種類や運動量のバランスに注意する等である。

評定の方法は知識、運動のテクニック、運動結果の標準によって総合的に評定をする。評定は5段階である。運動のテクニックでは次の観点による。「5」は、運動が正確に行われる、ゲームのルールがわかり上手に利用できる。「4」は、エクササイズは問題なく行われるが、若干緊張感がみられる。「3」は、エクササイズの実施でいくつか間違える、ゲームのルールがわかって上手に利用できない。「2」は、エクササイズができないし、何度も間違える。ルールの理解も不十分である。「1」は、全くできない。2や1の評定があると上級学校への進学はできないが、実際にはこの評定を受けるものはほとんどいない。

学習の基準となる具体的指標は表4である。スタンディングスタートによる30m走では、女子は5が6"3、4が6"7、3が7"1、男子では5が6"2、4が6"6、3が7"0である。そのほか8回連続の両脚跳び(m)、走り幅跳び(cm)、懸垂(回)、スキー1km(分)等である。1年生では評点はつけずに、口頭で説明する。2年生からは知識について質問法でテストする。応答がまちがっているときや、よく理解されていない時は解説し、より確実に理解させることとしている。

表4 学習の基準

| Виды упражнений | | Результаты и оценка | | |
|---|----------|---------------------|------|-------|
| | | 5 | 4 | 3 |
| Бег 30м с высокого старта (с) | Девочки | 6.3 | 6.7 | 7.1 |
| | Мальчики | 6.2 | 6.6 | 7.0 |
| Бег 1500м (без учета времени) | Девочки | | | |
| | Мальчики | | | |
| Многоскоки, 8 прыжков (м) | Девочки | 8.8 | 6.8 | 4.8 |
| | Мальчики | 9.0 | 7.0 | 5.0 |
| Прыжки в длину с разбега (см) | Девочки | 180 | 160 | 150 |
| | Мальчики | 200 | 180 | 160 |
| Прыжки в высоту с разбега (см) | Девочки | 70 | 65 | 55 |
| | Мальчики | 75 | 70 | 60 |
| Метание малого мяча в цель с 6м из 5 попыток (количество попаданий) | Девочки | 3 | 2 | 1 |
| | Мальчики | 3 | 2 | 1 |
| Подтягивание на высокой перекладине из виса (раз) | Мальчики | 3 | 2 | 1 |
| | Девочки | 8 | 6 | 4 |
| Ходьба на лыжах 1 км (мин, с) или | Девочки | 9.00 | 9.30 | 10.00 |
| | Мальчики | 8.30 | 9.00 | 9.30 |
| Ходьба на лыжах 2 км (без учета времени) | | | | |

一般の学校では体育館やプールのないところが多い。したがって、学校体育の内容では、体づくりやトレーニングが多くなっている。そのために、運動が単調とならぬようゲーム性を重視したり、興味・関心を低下させないための工夫が強調されている。

V スポーツ宝くじ

我が国でも「サッカーくじ」の実施が検討されているが、ロシアではオリンピックの資金、競技力向上の資金調達を目的に、既に「スポーツ宝くじ」(Спорт・Лотерия)が導入されている。競技スポーツの米ソ対局時代に経済的困窮の中で大量の選手派遣のための方策の一つであった。第18回東京オリンピックでは大選手団の派遣を実現し成功をおさめた。

その目的としては、1) 現地スポーツの促進、2) スポーツ全般の促進、3) オリンピック等の選手強化財源である。現在は長野そしてアトランタオリンピックへ向けての資金づくりが進められている。運営・管理は、ロシア国民オリンピック基金、民族スポーツ基金、スポーツ宝くじ協会(運動促進担当)の3ヶ所でされている。ユジノ・サハリンスク市では、駅前のレーニン広場の角に売店がある。

最近の傾向としては、人気の回復を図るためいくつかの工夫がされている。その場で結果が分かるタイプが多く売られている。くじをコイン等で擦ってコーティングを剥がし、同じマークが揃えばよいもの。最低の当たりが「もう一度ひける」もので、この率を高くしている。こうすることで売場には人が多くなるので、並ぶことが好きなロシア人の関心をひくことを意図しているのかもしれない。写真-4のように、欧米の宝くじを参考にして、デザインも刷新し、カラフルになった。乗用車が当たるものもある。よく売れる商品は300~1000ルーブルで、賞金の最高額は1億ルーブルであった。

また旧来からのものとしては(図-1)、1~36の数字から5つの数字を選ぶタイプのくじである。3つの部分に同じ記入をし、1つは自分で保存し2つは郵送する。発表



写真4 スポーツ宝くじ

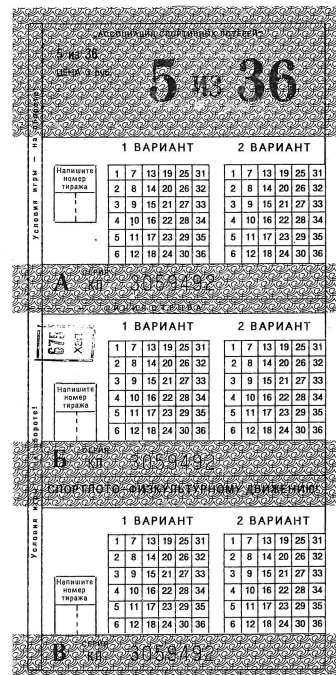


図1 スポーツ宝くじ

は毎週テレビで行われる。16歳未満は買うことができないと記されている。期間に間に合わなかった時は、次回に有効となる。

もう1つのタイプはサッカーの試合結果を予測するものである。これらも、2通り答えられるものや、1枚で数回の結果全部を予測するものなど種類が多い。

売り上げ収益はスポーツの財源として有効な手段となり、多くのスポーツ施設が各地に建設された。また少年スポーツの促進にも役立っている。以前は大きな金額が当たると名前を公表していたが、最近では治安が悪化していることもあり発表はしない。またCM広告も出していない。

VI おわりに

最近になって商品が豊富に並んで、街には活気が感じられるようになってきた。建設途中で放置されていた工事も再開されている。しかし、学校では紙やチョークの不足は解消されず、小さな学校では校長が街へでたときに自費で購入し、間に合わせているところもある。ソビエト時代の質の悪い教育施設は老朽化し手が着けられずに放置されている。経済が活気を帯びてきているとはいえ、学校教育の予算、施設設備、備品までとなると、まだまだ時間がかかるであろう。学生の教員志望は改善されず、教育内容が新しくなっても、教員の研修や再教育など地方の学校まではまだ達していない。

そうした苦悩の中であって、体育大学や高等教育機関にあっては、時代の変化に対応しつつ、新しいシステム・内容への変革を進めている。地域の情報を幅広くつかむためにも、人的な交流を図りつつ、極東地域の中心としての総合大学を目指した新たな動きを始めている。

付 記

本編は、本学の平成6年度特別研究費を受けて行われた海外研修の報告である。

引用・参考文献

- 1) 最新ソビエトスポーツ研究—その歴史と制度— 里見悦郎 不昧堂 1991
- 2) ロシア極東データブック ロシア東欧貿易会北海道連絡事務所・北海道地域総合研究所 1994
- 3) ПРОГРАММЫ СРЕДНЕЙ ОБЩЕОБРАЗОВАТЕЛЬНОЙ ШКОЛЫ МОСКВА “ПРОСВЕЩЕНИЕ” 1988
- 4) 混乱するロシアの科学 イーゴリ・イワンチュク、アスコリド・イワンチュク 岩波書店 1995